

中条きよし  
萩原流行  
金子賢  
濱田のり子  
野本実穂乃  
成瀬正孝  
清水健太郎  
鴈瀧太郎  
長島慶造  
深浦加奈子  
梅津栄  
左とん平  
白竜  
本田博太郎  
古尾谷雅人  
室田日出男

企画:利倉亮  
プロデューサー:前田茂司、江尻健司  
原作:安藤昇  
脚本:森岡利行、志村正浩、工藤栄一  
監督:工藤栄一  
撮影:下元哲  
照明:中元文孝  
録音:沼田和夫  
美術:石毛朗  
編集:金子尚樹  
殺陣:深作寛  
音楽:ヴィジュアルディ  
演奏:アルヘル・ロメロ&ベベ・ロメロ  
製作:オフィス中条、アーバンタイムス  
制作協力:レジェンド・ピクチャーズ  
配給:日本スカイウェイ

「親分に惚れてやくざになったんだ」  
「組織なんかは関係ない」

「男はやすらぎを求めた…だが狼たちはそれを許さなかった！」

# 安藤組外伝 群狼の系譜

工藤栄一監督作品

1998年ウィーン国際映画祭(VIENNALE)正式招待作品

優作前が楽だ  
お会何  
「ヨコハマBJブルース」

女ひとりなぐせに  
幸せに  
刑事女犯三匹  
「野獣刑事」

「赤と黒の熱情」  
やさか痛た  
銃弾の愛  
「ストリート」

こなし悪世ち壊る!  
「まむしの兄弟・二人合わせて30犯」

忍権大  
最も恐れ  
「影の軍団・服部半蔵」

工藤栄一の世界

襲うはた度! 3人の6  
「十三人の刺客」

この中密告者  
「やくざ対Gメン・Ⅳ」

俺ら暗夜の閃光  
友達お前は  
「その後の仁義なき戦い」



# 「男」の世界にドブプリつかりたい奴は見るべし!

サンフランシスコ対日講和条約が調印された1951年(昭和26年)に東映が発足、工藤栄一は翌52年、一期生として入社した。東映をはじめて東宝、松竹、大映、日活、新東宝の6社が覇を競っていた日本映画黄金時代の59年、娯楽時代劇「富嶽秘帖」で監督デビュー。翌60年には、同年発足した第二東映の第一作となる「次郎長血笑記(四部作)」を監督してスマッシュヒットを飛ばし、その職人芸に磨きをかけていった。だが映画界にも斜陽の波が確実に押し寄せていた。安保による政治不安もあり、観客は従来のような娯楽時代劇では満足出来なくなっていた。そこで登場したのが、特定の個人ではなく集団を主人公に捉えて、体制の暗部を鋭く抉り出し、クライマックスに至って大殺陣を繰り広げる「集団抗争時代劇」であった。その代表作「十三人の刺客」、脚本・演出・演技が三位一体となった奇跡のような大傑作であり、この一作で工藤栄一の名は映画史にしっかりと刻みこまれた。続編ともいべき「大殺陣」は、前作のテーマをさらに絞り込んだ妥協なき傑作となった。結局、仁侠路線の隆盛と共に、集団抗争時代劇も終焉を迎えた。仁侠路線には拒絶反応を示した工藤だが、佐治乾の好脚本を得た「日本暗黒史・血の抗争」「同情無用」の二部作は、「仁義なき戦い」シリーズでブレイクする実録ヤクザ路線を先取りした快作となった。これは主演の安藤昇の自伝的作品で、彼が俳優に転向して間もない頃のせい、か既成の俳優にはない生の迫力がビシビシ伝わってくる。一方、「必殺」シリーズ、「傷だらけの天使」シリーズなどで、藤田まこと・萩原健一・水谷豊らに出会って、テレビにも新たな可能性を見出した。徐々に映画に復帰した「その後の仁義なき戦い」では、チンピラヤクザたちの吃驚と挫折が、激しく繊細に描かれ、工藤栄一の健在ぶりを強烈にアピールした。その後も「ヨコハマB」ブルース」「野獣刑事」「逃れの街」「赤と黒の熱情」といったハード・ボイルド・タッチの作品では、独自の映像美と抒情性を絶妙に融合させて、他の追随を許さない工藤栄一ワールドを見せてくれる。新作「群狼の系譜」では、安藤昇が原作者で、出演はしていないが監督とは久々のコラボレーションとなるだけに興味はつきない。主演の中条きよしの気迫あふれる演技も見ものである。ともあれ工藤栄一の新作と旧作が、こんなにまとめて観られる機会はめったにない。「男」の世界にドブプリつかりたい奴は見るべし!

.....ダーティ工藤 (映画評論家)

工藤栄一監督作品

安藤組外伝

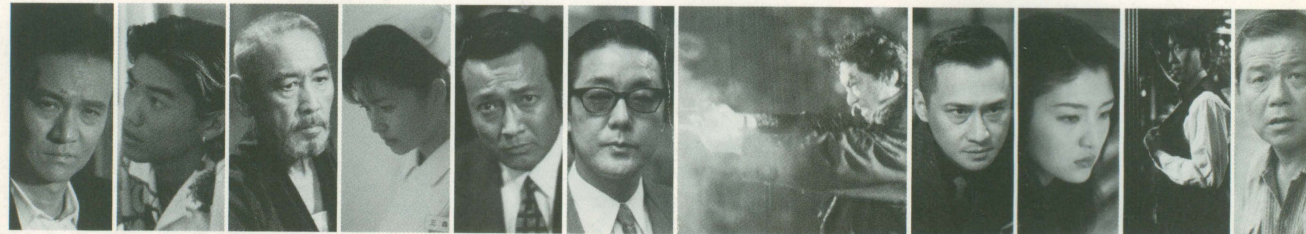
# 群狼の系譜

キャスト

中条きよし / 萩原流行 / 金子賢 / 濱田のり子 / 野本実穂乃 / 成瀬正孝 / 清水健太郎 / 鶴瀧太郎  
長島慶造 / 深浦加奈子 / 梅津栄 / 左とん平 / 白竜 / 本田博太郎 / 古尾谷雅人 / 室田日出男

スタッフ

企画:利倉亮 / プロデューサー:前田茂司、江尻健司 / 原作:安藤昇 / 脚本:森岡利行、志村正浩、工藤栄一 / 監督:工藤栄一 / 撮影:下元哲 / 照明:中元文孝  
録音:沼田和夫 / 美術:石毛朗 / 編集:金子尚樹 / 殺陣:深作寛 / 音楽:ヴィヴァルディ(2つのギターのための協奏曲) / 演奏:アル・ヘル・ロメロ&ベベ・ロメロ(ギター)  
アカデミー・オブ・セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ (リーダー:アイオナ・ブラウン) 製作:オフィス中条、アーバンタイムス / 制作協力:レジェンド・ピクチャーズ  
1998年ウィーン国際映画祭(VIENNALE)正式招待作品 ●1997年 ●ビスタサイズ ●カラー ●138分 ●配給:日本スカイウェイ



『十三人の刺客』『ヨコハマBブルース』『必殺!』の巨匠・工藤栄一が5年ぶりにメガホンをとった最新作『安藤組外伝 群狼の系譜』。

原作には、かつて安藤組組長としてその地位を築き上げた安藤昇。主演に、昔気質の本物のやくざという役柄に挑む中条きよし。光と影、静と動を巧みに操る独自の映像美に全編ヴィヴァルディの旋律に彩られ、昨今のヤクザ映画とは一味も、二味も違った重厚感ある作品である。

ストーリー

関東に拠点を置く秋田会の代貸(白竜)が、関東進出を狙う関西系三雄会ヒットマンの手によって刺殺された。時を同じくして、十四年ぶりに娑婆の空気を浴びた秋田会行動隊長・小諸久(中条きよし)。彼は誰の出迎えもなかった舘を火葬場で知った…。秋田会会長(室田日出男)に暖かく迎えられる小諸だが、出所したばかりの小諸に氣遣ってしばらく身を隠す様、勧める。又、若衆の一人だった新庄(萩原流行)は自分の組を持つまで出世しており、時代の移り変わりを肌で感じる。街に出た小諸は、かつての兄弟分(左とん平)との再会や舎弟(金子賢)との交流で心を休める。そして、とある怪我で入院した病院で出会った看護婦・秋江(濱田のり子)のやさしさに、小諸は次第に心を奪われていく。だが、徐々に激しさを増す三雄会との抗争によって命を落とした舎弟や兄弟分たちを弔うため、何処か二人でひっそり暮らしたいと願う秋江の想いを振り切って、一人、三雄会に向かう。しかしそこには、企業ヤクザとして三雄会と手を組んでいた新庄がいた。拳銃の引き金を引く小諸…。

工藤栄一監督の映画はハードボイルドであります。男の目頭を熱くさせるハードボイルドであります。時にはロングでクールに対象を見つめたりするのがたまたまハードボイルドであります。カッコよく生きるということは、時に不機嫌だったり、時に情けなかつたりするものですが、それを突き放すようにクールに見据えるからなおさらハードボイルドなのであります。ハードボイルドの定義というものもある種不明瞭だったりするわけですが、工藤監督の展開する世界こそがハードボイルドだと思ふ次第であります。シャープでクールに酔える、男の酒だと思ふ次第であります。(杉作J太郎・映画評論家)



「十三人の刺客」  
将軍の弟で明石藩主である暴君を権力の座から抹殺するべく、刺客が送られた。策士、剣の達人、血気にはやる若者など13人の暗殺隊の壮絶な死闘を、ダイナミックなカメラワーク、スピード感あふれる映像で描いた「集団抗争時代劇」の傑作。  
[1963年/モノクロ/125分]  
脚本:池上金男 / 撮影:鈴木重平 / 音楽:伊福部昭  
出演:片岡千恵蔵 / 嵐寛寿郎 / 西村晃 / 里見浩太郎  
十三人を演じた俳優の名前を全て言える奴はエライ!  
ちなみに十三人目は山城新伍である。  
ダーティ工藤



「やくざ対Gメン・囃」  
飯干晃一の同名小説を梅宮辰夫、松方弘樹主演で映画化したヤクザ映画。保釈を条件に警察のスパイになったヤクザ組織の幹部と、すこ腕の麻薬Gメンが、ヤクザ組織に潜入する。暗黒街に生きる男の心意気を熱く二人が演じる。  
[1973年/カラー/93分]  
原作:飯干晃一 / 脚本:高田浩治 / 撮影:赤塚雄 / 音楽:松原正樹  
出演:梅宮辰夫 / 松方弘樹 / 菅原文太 / 金子信雄 / 竜崎光恵  
大阪を舞台に展開する和製ハードボイルド決定版。  
松方弘樹アニのハードな自慰は一見の価値あり。杉作J太郎



「まむしの兄弟」二人合わせて30犯  
勝は莫大な資産を持つ老女・弥生の息子で、3歳の時に別れ別れになったと分かり、彼は弥生と涙の対面をする。しかしこれは加賀組が弥生の財産目当てに仕組んだ芝居だと判明。まむしの兄弟は、加賀組の事務所へ殴り込む。  
[1974年/カラー/93分]  
脚本:橋本達比古 / 撮影:丸尾元也 / 美術:井川徳道  
音楽:広瀬健次郎  
出演:菅原文太 / 川地民夫 / 東ミチ / 三宅邦子 / 成田三樹夫  
杉作J太郎



「その後の仁義なき戦い」  
題名に「仁義なき戦い」と銘打っているものの、本シリーズとは直接関係のない、いわば番外編。監督は深作欣二から工藤栄一にバトンタッチ。暴力組織の内部抗争という設定の中で、翻弄される若者たちに焦点を合わせ、友情、裏切り、激烈な生きざまを描く。  
[1979年/カラー/128分]  
原作:飯干晃一 / 脚本:神波史男、松田寛夫 / 撮影:中島徳 / 音楽:柳ジョージ  
出演:根津嘉八 / 宇崎竜童 / 松崎しげる / 原田美枝子 / 松方弘樹  
小池朝雄 / 成田三樹夫  
出口のない青春はホロ苦…。  
柳ジョージ&レイニーウッドのブルージン・ソウルが炸裂!  
杉作J太郎



「ヨコハマBブルース」  
米大陸に吹き荒れたネオ忍者ブームの先駆けとなった作品。アメフトを模した格闘シーンは永遠に新しい! 杉作J太郎  
[1980年/カラー/133分]  
脚本:高田浩治、志村正浩、山田隆之 / 撮影:中島徳  
音楽:原田祐臣  
出演:山村聰 / 金子信雄 / 成田三樹夫 / 瀧川恒彦 / 西郷輝彦  
緒方幸 / 霧下星子



「野獣刑事」  
はみ出し刑事と、犯人として捕えられた男、そしてその妻との三角関係を軸に、工藤監督がハードに描くアクション・ドラマ。ふだんは気が弱いが、覚醒剤を打つと人が変わったように暴力をふるう男に泉谷しげるが怪演している。  
[1981年/カラー/112分]  
原案:松田優作 / 脚本:丸山昇一 / 撮影:仙元誠三  
音楽:クリエーション  
出演:松田優作 / 内田裕也 / 財津一郎 / 辺見マリ / 菅江敬三  
便器に座って飯を食う優作がオシャレだぞ!  
ところでビー門口は今どうしているんだろう。ダーティ工藤



「赤と黒の熱情」  
組の資金を強奪した弟分、矢崎を組の命令で殺したヤクザ松浦。兄の死で廃人同様に記憶喪失になった妹、沙織。自らの罪を償うべく松浦は、彼女のために美しい思い出づくりこつこつを始めるのだった…。アウトローの人生をホロ苦いタッチで描く。  
[1982年/カラー/119分]  
脚本:神波史男 / 撮影:仙元誠三 / 音楽:大野克男  
出演:柳形拳 / いしたあゆみ / 泉谷しげる / 成田三樹夫 / 小林薫  
細身だが結構ボイン(死語?)のいしたあゆみの乳を野獣刑事・緒形拳が役得でもみまくり。ダーティ工藤



「赤と黒の熱情」  
組の資金を強奪した弟分、矢崎を組の命令で殺したヤクザ松浦。兄の死で廃人同様に記憶喪失になった妹、沙織。自らの罪を償うべく松浦は、彼女のために美しい思い出づくりこつこつを始めるのだった…。アウトローの人生をホロ苦いタッチで描く。  
[1992年/カラー/108分]  
脚本:野沢尚 / 撮影:仙元誠三 / 音楽:星島健男  
出演:柳形拳 / 藤生祐未 / 仲村トオル / 古尾谷雅人  
余貴美子 / 内藤剛志 / 柳家敏郎  
柳家敏郎は出番は少ないがもうけ役。  
第2の高倉健・仲村トオルは相変わらず食われる。  
ダーティ工藤

**6月13日(土)~26日(金)「工藤栄一の世界」上映!**  
●当日一般:1,500円 / 学生:1,300円 / シニア・水曜日:1,000円 (最終回1本1,000円)  
●作品日程  
「十三人の刺客」(A)「やくざ対Gメン・囃」(B)「まむしの兄弟」(C)「その後の仁義なき戦い」(D)「影の軍団・服部半蔵」(E)「ヨコハマBブルース」(F)「野獣刑事」(G)「赤と黒の熱情」(H)  
13 (土) 14 (日) 15 (月) 16 (火) 17 (水) 18 (木) 19 (金) 20 (土) 21 (日) 22 (月) 23 (火) 24 (水) 25 (木) 26 (金)  
11:30 A B A C 休館日 D C 11:30 E F E F G H G  
1:50 B A B D C D 1:50 F E F E H G H  
4:20 A B A C D C 4:20 E F E F G H G  
7:30 B A B D C D 7:30 F E F E H G H  
※作品は二本立て上映。お席の入れ替えはありません。

**6月27日(土)より「安藤組外伝 群狼の系譜」ロードショー!**  
●当日一般:1,800円 / 学生:1,500円 / シニア・水曜日:1,000円  
**特別鑑賞券1,500円発売中!**  
※劇場窓口、チケットぴあ、チケットセゾンにてお求め下さい。  
上映時間 11:20 2:00 4:40 7:20  
**KINECCA**  
キネカ大森  
※映画をご覧の方は、駐車料金が4時間までサービスとなります。〒140-0031 品川区南大森6-27-25 JR大森駅東口西友大森店5F TEL.03-3762-6000  
「工藤栄一全映画」(仮題)  
○6月下旬ワイス出版より刊行予定  
○定価2,800円  
○著者:工藤栄一 / ダーティ工藤  
光と影でつくりあげる凄烈なる詩情  
「十三人の刺客」などで集団時代劇の頂点を極めた工藤栄一の映画世界に、全作品インタビュー・フィルムグラフィック・ステールを網羅してしまえる待望の書